

尾道観光散策マップ等制作業務委託仕様書

1 趣旨

広島県を訪れる観光客は、宮島と原爆ドームという二つの世界遺産は必ず訪れるものの、他の県内観光地を周遊していない場合が多い。広島県観光連盟（以下、連盟という）は、広島県を訪れる観光客に県内周遊を促す取組を進めており、その一環として「尾道」を県内にある二つの世界遺産に引けをとらない観光地として開発する事業を進めているところである。本事業では、尾道を訪れた観光客が快適に観光でき、尾道が魅力ある観光地として認識されるようイメージアップにつながるマップ等を制作する。

2 業務の名称

尾道観光散策マップ等制作業務

3 業務の執行体制（適正な人員配置）の確保について

受託者は、この委託業務に必要な人員を配置し、責任者及び副責任者を明らかにするとともに体制を連盟に報告すること。

4 業務の内容

- ・「尾道」を訪れた観光客にその魅力が伝わるような散策マップ等の内容（デザインを含む）を提案すること。
- ・企画提案書には構成・仕様・内容・数量等を、写真等を使い分かりやすく提示すること。
- ・企画の趣旨を鑑み、効果的な構成・デザインとすること。

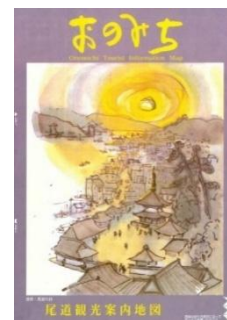
（１）以下の３種類を制作すること。

①散策ガイドブック

- ・尾道、瀬戸田を訪れる観光客が持ち歩きたくなるようなオシャレなデザイン性と訴求力を兼ね備えたものとする。
- ・スポットの羅列にならないよう散策を促すコース等を工夫して掲載することとし、その考え方を提案すること。
- ・サイズは A5 版程度、カラー両面、ページ数は 16 ページ程度を想定しているが、提案による。
- ・日本語版を最低 20,000 部以上、英語版を最低 10,000 部以上製作すること。

②散策マップ

- ・ 現行の「尾道観光案内地図」（右図参照）をベースとし、観光客が徒歩で市街地を散策することを想定したマップの内容を提案すること。
- ・ 表紙デザインの方向性も提案すること。
- ・ サイズは A3 判程度、観音折、カラー両面を想定しているが、提案による。
- ・ 日本語版、英語版を最低各 5,000 部以上製作すること。



③サイクリング用マップ

- ・ 尾道と今治を結ぶしまなみ海道はサイクリストの聖地となっているが、観光客がより気軽にサイクリングや瀬戸内の島々を楽しめる「ちょい乗りサイクリング」をテーマとしたマップを制作すること。
- ・ 具体的には尾道駅～向島、尾道駅～因島、尾道駅～生口島の3つについて、自転車の借り方や船の乗り方、おすすめのコース、周辺の観光地、飲食店、土産店の提案など観光客目線の内容を盛り込むこと。
- ・ サイズは A2 判程度の三つ折り、カラー両面を想定しているが、提案による。
- ・ 日本語版を最低 20,000 部以上、英語版を最低 10,000 部以上製作すること。

提案は、内容・仕様・発行部数ともに最低限上記以上で提案するとともに、①～③それぞれ計画する記載内容案をページごとに具体的に示すこと。提案された物の見た目、記事のテイスト等も選考対象とする。

ただし、最終的なデザインの内容については受託者と連盟で打ち合わせの上、決定する。

- (2) 来年度以降、制作物の編集や増刷は尾道市と直接商談を想定している。そのため、来年度以降増刷する場合等のランニング経費を、現時点での目安として示すこと。(持続的に制作する意図があるため、ランニング経費が高すぎるのは好ましくない。)

(例) 1万部増刷 ○円 3万部増刷 ○円 5万部増刷 ○円

- (3) 制作にあたっては、パンフレット等の大きさや紙質が分かるようなサンプルを併せて提出すること。
- (4) 制作されたマップ等について PDF 等のデジタルデータも納入すること。
- (5) 「尾道」「呉」を県外観光客に PR するため、本プロポーザルと同様のスケジュールで、「インフルエンサーの活用による「尾道」「呉」への観光客誘客促進業務」と「「尾道」「呉」を PR する冊子制作・情報拡散業務」のプロポーザルを行うが、事業者決定後、同業務の決定事業者と協力できる部分がある場合は、積極的に協力

し合うこと。なお、その際は連盟が橋渡しを担う。

5 連盟との調整

(1) 各種企画提案書、計画書、進捗状況報告の提出

- ①本業務に係るその月の進捗状況を毎月報告すること。
- ②本業務の中で、計画書、進捗状況報告書の作成が必要なものについて、連盟から依頼があれば速やかに対応すること。

(2) その他

本業務の実施に際し、連盟の要請に速やかに応じること。

6 契約期間

契約締結日から令和8年2月10日（火）まで

7 実績報告

実施にあたっては、目標を設定し本業務の効果検証を行い、完了した日から起算して10日以内に実績を任意様式にて報告すること。

8 成果の帰属及び秘密保持

(1) 本業務により得られた成果（映像・画像の著作権含む）は、連盟に帰属する。

但し、成果品および成果品の構成素材に受注者が従前より保有していた地図・意匠・商標・ブランド・ロゴ・シンボルマーク・画像・データ等の著作物その他知的財産権（以下、これらまとめて「知的財産」という）および正当な手続きにより使用または借用した第三者の知的財産が含まれる場合は、当該知的財産は受注者または第三者に留保される。

(2) 制作されたマップ等について、連盟・尾道市の関連ホームページに張り付けたデジタルデータへのリンクをフリーで拡散する権利を認めること。

(3) 秘密保持

- ① 本業務に関し、受託者が連盟から受領又は閲覧した資料等は、連盟の了解無く公表又は使用してはならない。
- ② 受託者は、本業務で知り得た連盟及び事業者等の業務上の秘密を保持しなければならない。

9 再委託

受託者は、業務の一部を第三者に再委託することができる。その場合は、再委託先ごとの業務内容、再委託先の概要及びその体制と責任者を明記の上、事前に書面にて報告し、連盟の承諾を得なければならない。

10 その他

- 1)受託者は、本業務の実施にあたって、不明瞭な点や改善の必要性があると認められる場合は、連盟と協議すること。
- 2)業務の実施に当たっては、連盟及び各関係機関等との連絡調整を十分に図ること。
- 3)事業計画等に重要な変更が生じる場合には、事前に連盟と協議を行うこと。
- 4)不測の事態が発生した場合においては、速やかに連盟に報告すること。
- 5)その他、本契約の範囲内において、この仕様書に記載のない事項については、関係者において協議し、決定する。